

I 2015年度 大学評価委員会の評価結果への対応

【2015年度大学評価結果総評】

比較経済研究所に対しては、大学評価委員会からは特段の指摘はなされていない。2014年度も、国内外の学会発表や国際査読付雑誌論文への掲載など、研究活動が積極的に行われており、評価できる。

【2015年度大学評価委員会の評価結果への対応状況】（～400字程度まで）

概ね高い評価を得ており、引き続き国際雑誌と国際学会を通じて研究活動の公表を積極的に進めるとともに、シンポジウムやセミナーなどの対外発信を続けたい。

II 自己点検・評価

1 研究活動

【2016年5月時点における点検・評価】

(1) 点検・評価項目における現状

1.1 研究所の理念・目的に基づき、研究・教育活動が適切に行われているか。

2015年度の活動状況について項目ごとに具体的に記入してください。

① 研究・教育活動実績（プロジェクト、シンポジウム、セミナー等）

※2015年度に実施したプロジェクト、シンポジウム、セミナー等について、開催日、場所、テーマ、内容、参加者等の詳細を箇条書きで記入。

【研究プロジェクト関連コンファレンス等】

・比較経済研究所国際コンファレンス

開催日：2015年11月15日-16日、開催場所：法政大学市ヶ谷キャンパス、参加者25名

テーマ：Asian Economy at the Crossroad: China, India, and ASEAN

コーディネーター：絵所秀紀（法政大学）、胥鵬（比較経済研究所所長）

招待討論者：石上悦朗（福岡大学）、丸川知雄（東京大学）加藤篤史（青山学院大学）

発表者：Hongzhong LIU氏（Liaoning University）、田村晶子（法政大学）、胥鵬、武智一貴（法政大学）、藤田麻衣（ジェトロアジア経済研究所地域研究センター）、Nguyen Anh Thu（VNU University of Economics and Business）、渡邊真理子（学習院大学）、近藤章夫（法政大学）

・『国際競争力を高める企業の直接投資戦略と貿易』プロジェクト中間報告コンファレンス

開催日：2016年3月12日、開催場所：法政大学市ヶ谷キャンパス、発表者8名、参加者20名。

・『金融市場における規制・制度の役割』プロジェクト中間報告コンファレンス

開催日：2016年3月12日、開催場所：法政大学市ヶ谷キャンパス、発表者4名、参加者15名。

【講演会・セミナー等】

・第32回比較研公開講演会、

開催日：2016年6月16日、開催場所：法政大学多摩キャンパス、参加者100名

比較研シリーズ「都市空間と産業集積の経済地理分析」出版記念

テーマ：東北地方における新産業の集積形成－航空機産業と医療機器産業を事例にして－

講演者：山本匡毅氏（山形大学人文学部）

・第33回比較研公開講演会

開催日：2016年10月21日、開催場所：法政大学多摩キャンパス、参加者120名

テーマ：ポンコツだけど楽しいテレビの作り方～“弱者の競争戦略”の理論と実際…テレビ東京の場合～

講演者：高橋弘樹氏（株式会社テレビ東京）

・第30回比較研サロン

開催日：2015年6月19日、開催場所：法政大学比較経済研究所、参加者12名

報告者：濱秋純哉（経済学部）

テーマ：「Intra-family division of inherited property and bequest motives: Empirical evidence from a survey on Japanese households（我が国の世帯内の遺産分割と遺産動機：アンケート調査を用いた実証分析）」

・第31回比較研サロン

開催日：2015年12月18日、開催場所：法政大学比較経済研究所、参加者15名

<p>報告者：酒井 正（経済学部）          テーマ：「Informal Care and Working hours: A Meta-Regression Approach」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・八王子市学園都市大学（いちょう塾）</li> </ul> <p>開催日：2015年11月11日、会場：学園都市センター 第1セミナー室          テーマ：「ライフサイクルにおける金融資産選択～年齢に応じた金融資産の選び方～」          講師：高橋秀朋（比較研専任研究員）</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各共同研究プロジェクトにおいて実施されている研究会の詳細については、比較経済研究所「年次活動報告 2015年度（平成27年度）」を参照のこと。</li> </ul>
<p>【根拠資料】 ※ない場合は「特になし」と記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較経済研究所「年次活動報告 2015年度（平成27年度）」          ※ホームページ上にて公表 (<a href="http://www.hosei.ac.jp/ices/study/04.html">http://www.hosei.ac.jp/ices/study/04.html</a>)</li> </ul>
<p>②対外的に発表した研究成果（出版物、学会発表等）</p> <p>※2015年度に刊行した出版物（発刊日、タイトル、著者、内容等）や実施した学会発表等（学会名、開催日、開催場所、発表者、内容等）の詳細を箇条書きで記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書（共同研究比較研シリーズプロジェクトの成果）の刊行          法政大学比較経済研究所・馬場敏幸編『金型産業の技術形成と発展の諸様相：グローバル化と競争の中で（法政大学比較経済研究所 研究シリーズ30）』日本評論社、2016年3月31日刊。</li> <li>・英文ジャーナルの発行…比較研の英文紀要“Journal of International Economic Studies”、No.30、発行日：2016年2月。6本の論文を収録（特集論文5本、テーマ：Industry Studies and Economic Geography in East Asia、査読論文1本収録）。</li> <li>・各共同研究プロジェクトにおいて公表した研究成果については、比較経済研究所「年次活動報告 2015年度（平成27年度）」を参照のこと。</li> </ul>
<p>【根拠資料】 ※ない場合は「特になし」と記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較経済研究所「年次活動報告 2015年度（平成27年度）」          ※ホームページ上にて公表 (<a href="http://www.hosei.ac.jp/ices/study/04.html">http://www.hosei.ac.jp/ices/study/04.html</a>)</li> </ul>
<p>③研究成果に対する社会的評価（書評・論文等）</p> <p>※研究所の刊行物に対して2015年度に書かれた書評（刊行物名、件数等）や2015年度に引用された論文（論文タイトル、件数等）の詳細を箇条書きで記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・書評：法政大学比較経済研究所・近藤章夫編『都市空間と産業集積の経済地理分析』日本評論社（2015年2月刊）、『経済地理学年報』Vol.61、No.4、pp.132-136。          同書は『日経ビジネス』2015年8月10日号でも取り上げられた。</li> </ul>
<p>【根拠資料】 ※ない場合は「特になし」と記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経済地理学会『経済地理学年報』Vol.61、No.4、pp.132-136。</li> <li>・日経BP社『日経ビジネス』2015年8月10日号、85p。</li> </ul>
<p>④研究所（センター）に対する外部からの組織評価（第三者評価等）</p> <p>（～400字程度まで）※2015年度に外部評価を受けている場合には概要を記入。外部評価を受けていない場合については、現状の取り組みや課題、今後の対応等を記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外部評価は隔年で実施しており、2015年度に外部評価委員会を2015年12月11日ならびに18日に開催した。外部評価委員は小塚壮一郎氏（学習院大学法学部）と花枝英樹氏（中央大学総合政策学部）に依頼し、比較研の研究成果（書籍、英文ジャーナル）、年次活動報告、公的研究費採択状況の各資料をもとに、比較研中期目標・年度目標の達成状況について評価していただいた。すべての評価基準でA以上の評価を受けた。</li> </ul>
<p>【根拠資料】 ※ない場合は「特になし」と記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>
<p>⑤科研費等外部資金の応募・獲得状況</p> <p>※2015年度中に応募した科研費等外部資金（外部資金の名称、件数等）および2015年度中に採択を受けた科研費等外部資金（外部資金の名称、件数、金額等）を箇条書きで記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2015年度の科学研究費補助金への応募、4件。採択2件。</li> <li>・2015年度の科学研究費補助金の採択、12件（研究所研究員が代表者のみ）。</li> </ul>

内訳：基盤研究 B（一般）2 件（交付額 630 万円）、基盤研究 B（海外学術研究）3 件（交付額 1360 万円）、基盤研究 C 5 件（交付額 560 万円）、若手研究 B 2 件（交付額 120 万円）

【根拠資料】※ない場合は「特になし」と記入。

- ・学内資料「2015（平成 27）年度法政大学公的研究費採択者一覧」

## （2）特記事項

※上記点検・評価項目における 2015 年度新規取り組み事項および前年度から変更や改善された事項等について、箇条書きでそれぞれの概要を記入。ない場合は「特になし」と記入。

内容	点検・評価項目
・特になし	

## （3）現状の課題・今後の対応等（任意項目）

※（1）～（2）の内容を踏まえ、現状の課題および今後の対応等について箇条書きで記入。課題がない場合は「特になし」と記入。

・特になし
-------

### 【この基準の大学評価】

比較経済研究所では、コンファレンス・講演会・セミナー等が、定期的で開催され、特に講演会では多数の出席数を確保している等、活発な活動が見られるので、ホームページでそれらの内容（要約）の紹介を検討してはどうか。また、英文紀要が年度末に継続して発行されており、アジア諸国への適切な情報発信が行われていると評価できる。これらの成果に対し、書評による社会評価もなされている。

外部評価の取り組みについては、2 年に 1 度、第三者評価を適切に実施、高い評価を得ている。

外部資金については、科研費に 12 件採択されており、研究内容・方針が適切なことが評価されている。

以上の研究活動を通して、国内外の大学・研究機関との交流と大学院生など若手研究者の育成に寄与することが期待される。

## 2 内部質保証

### （1）点検・評価項目における 2015 年度の現状

2.1 内部質保証システム（質保証委員会等）を適切に機能させているか。

①質保証活動に関する各種委員会は適切に活動していますか。

【2015 年度における質保証活動に関する各種委員会の構成、活動概要等】※箇条書きで記入。

- ・内部質保証委員会：運営委員メンバー3 名——絵所（委員長）、近藤、胥
- ・質保証委員会によるプロジェクトに対する評価を運営委員会で報告・議論し、研究所の運営や専任所員と兼担プロジェクトの実施に反映させています。

### （2）特記事項

※上記点検・評価項目における 2015 年度新規取り組み事項および前年度から変更や改善された事項等について、箇条書きでそれぞれの概要を記入。ない場合は「特になし」と記入。

内容	点検・評価項目
・特になし	

### 【この基準の大学評価】

比較経済研究所では、運営委員会メンバー3 名により質保証委員会が構成されている。小規模の研究所では運営委員会メンバーと兼務せざるを得ないが、運営委員会と質保証委員会が相互に審議することにより、PDCA サイクルが機能するよう期待したい。

### 【大学評価総評】

比較経済研究所は国際比較の研究・調査をテーマに 30 年を超えた歴史のある研究機関として、国際専門誌・シンポジウム・セミナー等の研究は安定した高い評価を得ている。研究領域については、国内はもとより東アジア・東南アジアの諸

国を対象として、独創的な研究を進めてきている。

法政大学のグローバル化においてもアジア諸国からの留学生の増強を意図しており、海外研究機関ネットワークの拡充、研究活動・研究成果のより対外的な情報発信、大学院生・若手研究者の育成などを、より進めるよう望みたい。